ユーザーマニュアル

Transcend® SSD Scope ソフトウェア

SSD Scope™

(Version 1.5)

トランセンドの SSD は静かで、より快適な動作を提供します。また、SSD Scope ソフトウェアを利用することで SSD を管理し、最新の状態にアップデートしたり、故障予測を立てることなどが可能です。「ドライブ情報の閲覧」、「S.M.A.R.T.ステータスの閲覧」、「診断スキャン」、「セキュア消去」、「ファームウェアのアップデート」、「TRIM の有効/無効」、「システムクローン」の機能が含まれています。

目次

ハードウェア要件

- トランセンドの SSD (SSD25S-M (HW6070,6071) / SSD25 (HW6140) / SSD720 / SSD320 / MSA720)

対応 OS

- Microsoft Windows® XP SP3 (32/64bit)
- Microsoft Windows Vista® (32/64bit)
- Microsoft Windows® 7 (32/64bit)

注記: SSD Scope ソフトウェアを起動するには管理者権限が必要です。

ソフトウェアの入手

SSD Scope を実行するためにインストールが必要なソフトウェアはありません。SSD Scope をダウンロードセンターからダウンロードし、ファイルを解凍して“SSD Scope.exe”をダブルクリックしてください。
http://jp.transcend-info.com/Support/DLCenter/index.asp

ドライブ情報の閲覧

トランセンドの **SSD** のドライブ情報を表示します。

1. メインメニューの“DRIVE”を選択します。

2. トランセンドの SSD を選択するとドライブ情報が確認できます。

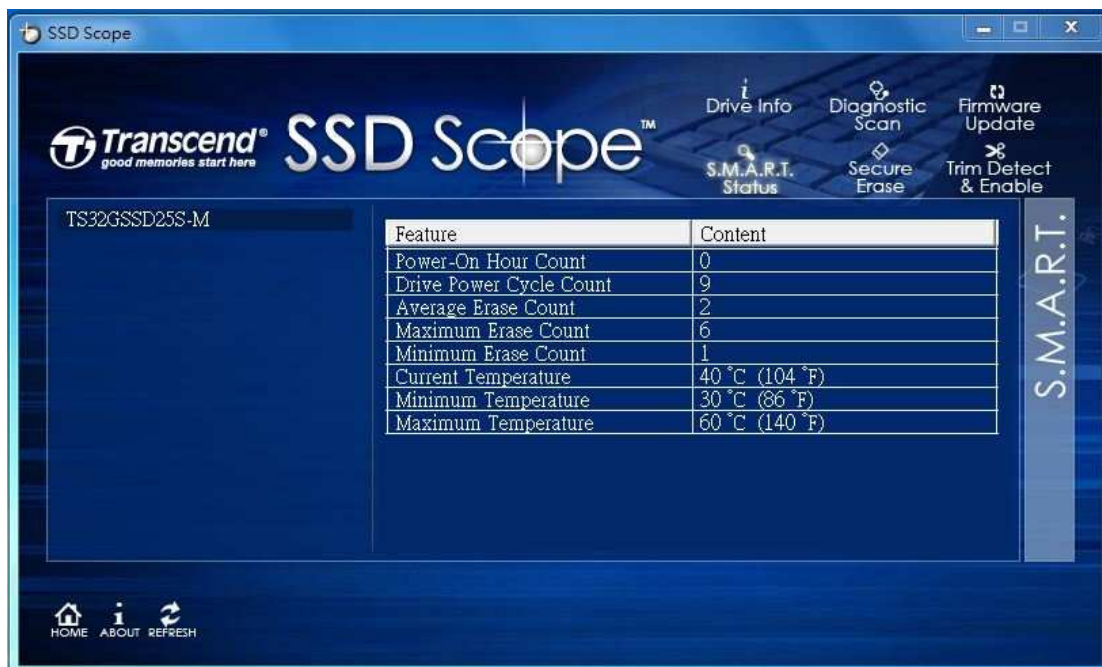
Feature	Content
Physical Disk Number	1
Serial Number	20120416A04572031055
Firmware Version	110512E
Model Number	TS32GSSD25S-M
NCQ Support	Supported
Major Version Number	Support ATA/ATAPI-8
SMART Support/Status	Supported/Enabled
Security Support/Enable	Supported/Disabled
APM Support/Enable	Supported/Disabled
Interface Type	Serial ATA
Trim Command Support	Supported
Transfer Mode	Ultra DMA mode 6
Serial ATA Capabilities	Support SATA Gen2 Signaling Speed

S.M.A.R.T.ステータスの閲覧

S.M.A.R.T.は業界標準のストレージデバイスのモニタリング技術でドライブが故障する前に潜在的なエラーを検出するために使用されています。

1. メインメニューの"S.M.A.R.T."を選択します。

2. トランセンドの SSD を選択すると S.M.A.R.T.ステータスを確認できます。

Feature	Content
Power-On Hour Count	0
Drive Power Cycle Count	9
Average Erase Count	2
Maximum Erase Count	6
Minimum Erase Count	1
Current Temperature	40 ˚C (104 ˚F)
Minimum Temperature	30 ˚C (86 ˚F)
Maximum Temperature	60 ˚C (140 ˚F)

(製品モデルによって表示される S.M.A.R.T.ステータスは異なります。)

診断スキャン

トランセンドの **SSD** の状態を調べて診断します。

注記: **SSD720 / SSD320 / MSA720** は、診断スキャンをサポートしていません

1. メインメニューの“SCAN”を選択します。

2. 診断スキャンを行うトランセンドの SSD を選択します。

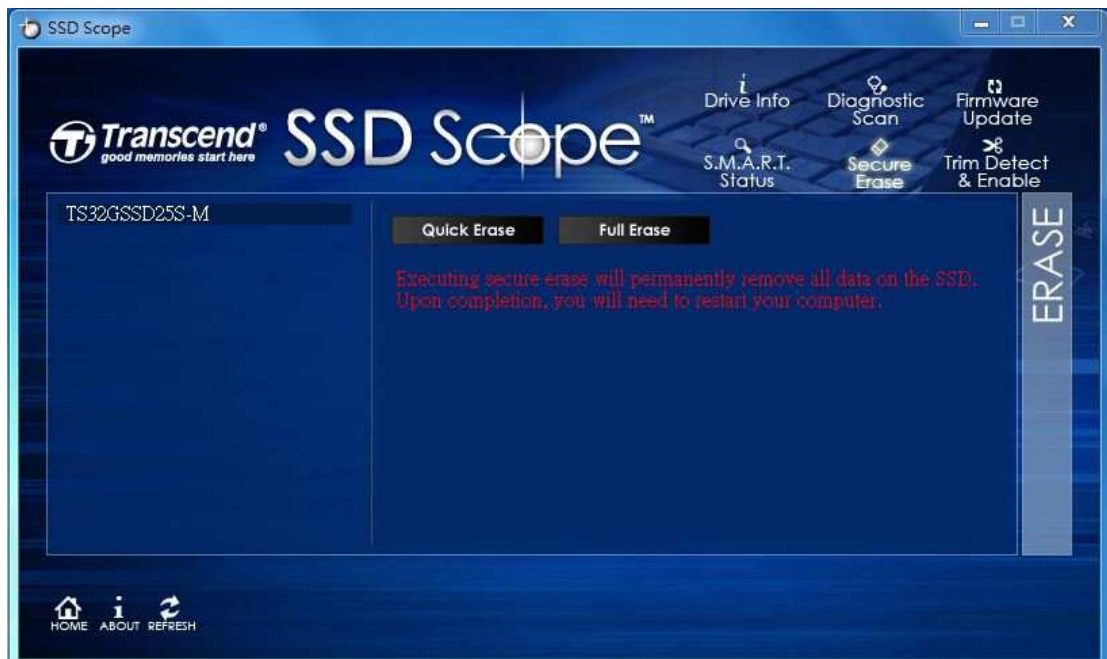
3. “Quick Scan”または“Full Scan”を選択するとスキャンを開始します。実行中

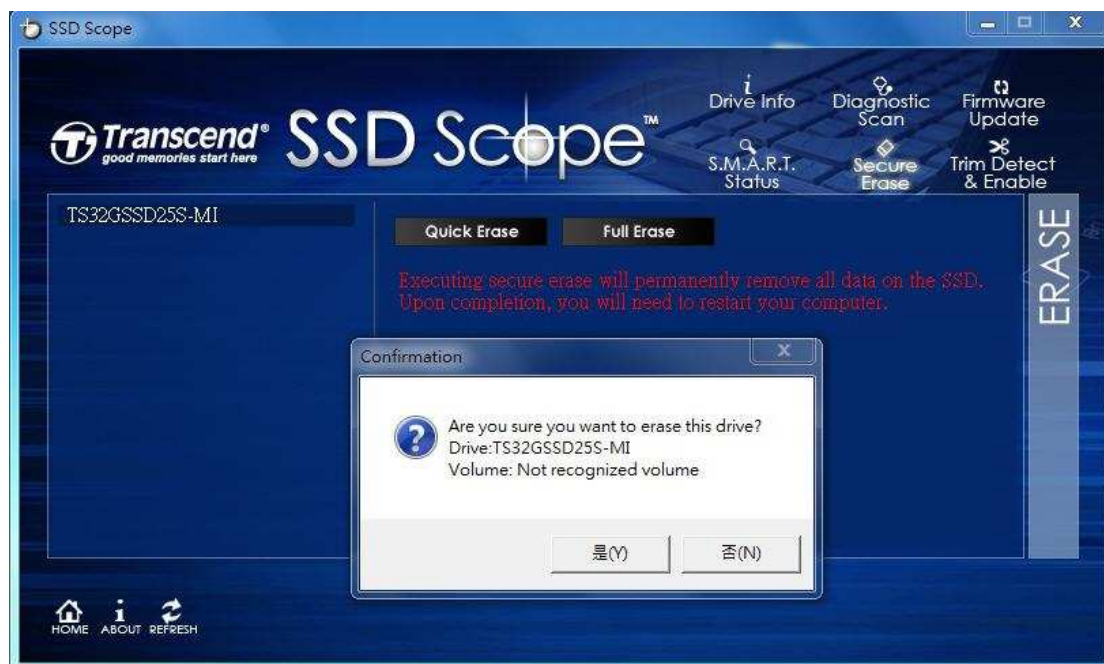
に診断スキャンを中止する場合は“Stop”をクリックします。

セキュア消去

注記: **SSD720 / SSD320 / MSA720** は、セキュア消去をサポートしていません

1. メインメニューの"ERASE"を選択します。

2. セキュア消去を行うトランセンドの SSD を選択し、"Quick Erase"または"Full Erase"をクリックします。

注記: ブートドライブやロックされているドライブにはセキュア消去を利用できません!

3. メッセージウィンドウが表示され、SSD のデータを消去するかを確認します。確認後に、セキュア消去を開始します。

4. 消去処理には時間がかかる場合があります。また、処理時間は SSD の容量によって異なります。

5. セキュア消去が完了すると、メッセージウィンドウが表示されます。起動しているアプリケーションを終了し、"OK"をクリックすると PC を再起動します。

注記: **SSD のデータを消去後は PC の再起動を行ってください。**

ファームウェアのアップデート

トランセンドの SSD のファームウェアを最新バージョンに更新します。

1. メインメニューの“UPDATE”を選択します。

2. ファームウェアのアップデートを行うトランセンドの SSD を選択します。

3. “Browse”をクリックし、ファームウェアの保存先を選択します。

4. “Download”をクリックするとダウンロードを開始します。ダウンロード中はプログレスバーで進捗状態を確認できます。

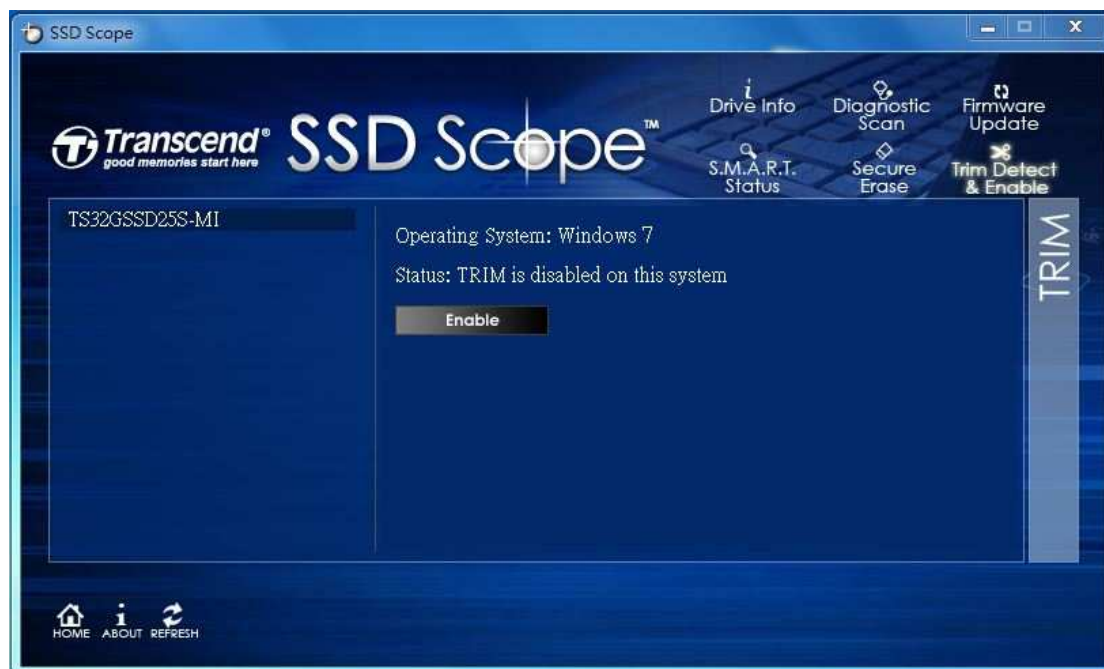
5. 手順 3 で設定した場所にファームウェアは保存されます。

注記: データの消失を防ぐために、ファームウェアのアップデートを行う前にデータのバックアップをとり、別の場所に保存しておくことをお勧めします。

TRIM の検出と有効 (Windows 7 のみ)

TRIM は SSD のパフォーマンス低下を防ぐために自動的に不要なデータを消去する機能です。

1. メインメニューの“TRIM”を選択します。

2. OS と TRIM のステータスが表示されます。TRIM を有効にする場合は“Enable”をクリックします。

3. 反対に、TRIM を無効にする場合は“Disable”をクリックします。

システムクローン

システムクローンはデスクトップ/ノートPCのハードドライブをトランセンドのSSDにクローニングするための機能です。OS、プログラム、保存データなどをHDDからトランセンドのSSDにコピーするので、クローニング完了後にドライブを入れ替えて再起動するだけで新しいSSDドライブから通常通りWindowsを起動できます。以下の説明に沿ってシステムクローンを使用し、SSDへの換装を行ってください。

特色

- OSレベルのバックアップに対応
- ディスクからディスクへのクローニング*
- OSパーティションのクローニングのみ対応**
- 元のドライブのパーティション構成とサイズをそのまま保持することが可能
- 新しいドライブにクローニングする際にパーティションサイズを拡大できる拡張ディスク機能
- 簡単にシステムのバックアップとリストアが可能
- USB外部ドライブに対応

*新しいSSDドライブの容量が元のドライブより大きい場合に利用可能
**新しいSSDドライブの容量は元のドライブより小さいが、OSパーティションより大きい場合に利用可能

対応 **OS**

- Microsoft Windows® XP SP3 (32bit)
- Microsoft Windows Vista® (32/64bit)
- Microsoft Windows® 7 (32/64bit)

対応ファイルシステム

- FAT16 / 32
- NTFS
- exFAT

必要なハードウェア

インストール前に下記のハードウェアを用意してください。

デスクトップ PC の場合

- SATA ポート
- ハードドライブ ＆ トランセンドの SSD (SSD25S-M / SSD25 / SSD720 / SSD320 / MSA720)
- SATA-SATA インターフェースケーブル
- SATA 電源アダプタ
- 3.5 インチ取付けブラケットとネジ
- プラスドライバ

ノート PC の場合

- USB 2.0/3.0 ポート
- ハードドライブ ＆ トランセンドの SSD (SSD25S-M / SSD25 / SSD720 / SSD320 / MSA720)
- USB-SATA ケーブルまたはアダプタ

注意事項: システムクローンを利用する前にお読みください

新しい**SSD**ドライブの容量が使用しているハードドライブより小さい場合

例:

A. 新しい**SSD**ドライブ **= 128GB**、使用している**HDD = 160GB**、**OS**パーティション**(C:) = 20GB**

このような場合、System Cloneは**OS**パーティションのみをクローニングします。HDDの他のパーティションは手動でバックアップをとる必要があります。

B. 新しい**SSD**ドライブ **= 128GB**、使用している**HDD = 160GB**、**OS**パーティション**(C:) = 150GB**

このような場合、システムクローンは利用できません。HDDのOSパーティションはSSDの容量より小さくなくてはなりません。

C. 新しい**SSD**ドライブの容量が使用しているハードドライブと同じまたは大きい場合

システムクローンは全てのパーティションを含むディスク全体をクローニングします。拡張ディスク機能を利用することでSSDの全容量を活用できます。

ステップ 1. 新しい SSD をコンピュータに取り付ける

注記: 使用しているハードドライブはステップ 3 が完了するまで接続したままにしてください。

デスクトップ PC に接続する場合

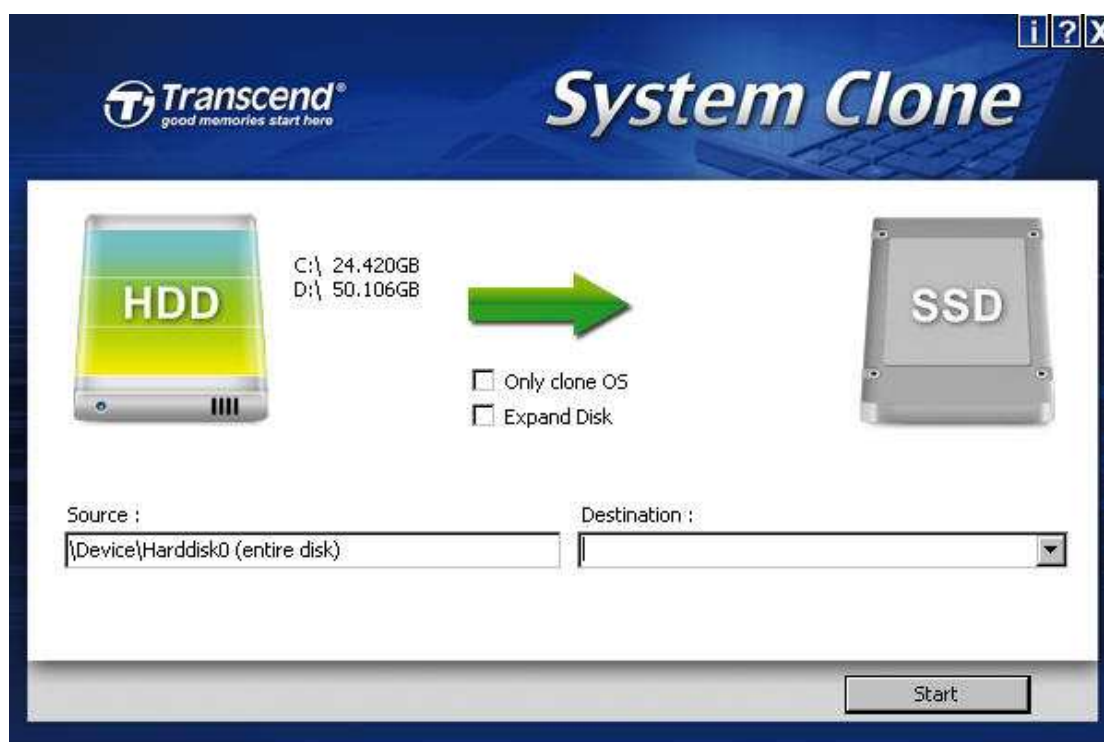
1. PC の電源をオフにし、電源ケーブルを外します。
2. PC のマニュアルを参照してケース/カバーを外します。
3. 3.5 インチ取付けブラケットの SSD 取付け位置を確認します。
4. SSD を取付け位置に置き、付属のネジでしっかりと固定します。
5. PC の 3.5 インチハードドライブベイの位置を確認します。
6. 取付けブラケットに固定した SSD をネジでベイに取り付けます。SATA コネクタが PC の内側を向いていることを確認してください。
7. SATA のデータケーブルと電源ケーブルを SSD に接続します。電源ユニットが SATA 電源コネクタを持っていない場合は、付属の SATA 電源アダプタを使用してください。
8. PC に電源ケーブルを接続して PC の電源をオンにすると OS が SSD を認識します。

ノート PC に接続する場合

1. USB-SATA ケーブルを PC の USB ポートに接続します。
2. USB-SATA ケーブルを SSD に接続します。
3. PC の電源をオンにすると OS が SSD を認識します。

ステップ 2. システムクローンを実行する

1. クローニングを行う前に実行中の全てのプログラムを終了してください。
2. メインメニューの“System Clone”を選択します。

下図のようにシステムクローンのスクリーンが表示されます。

システムクローンが自動的にドライブを認識します。HDD/SSD ドライブのおよその容量とディスクパーティション情報が表示されます。

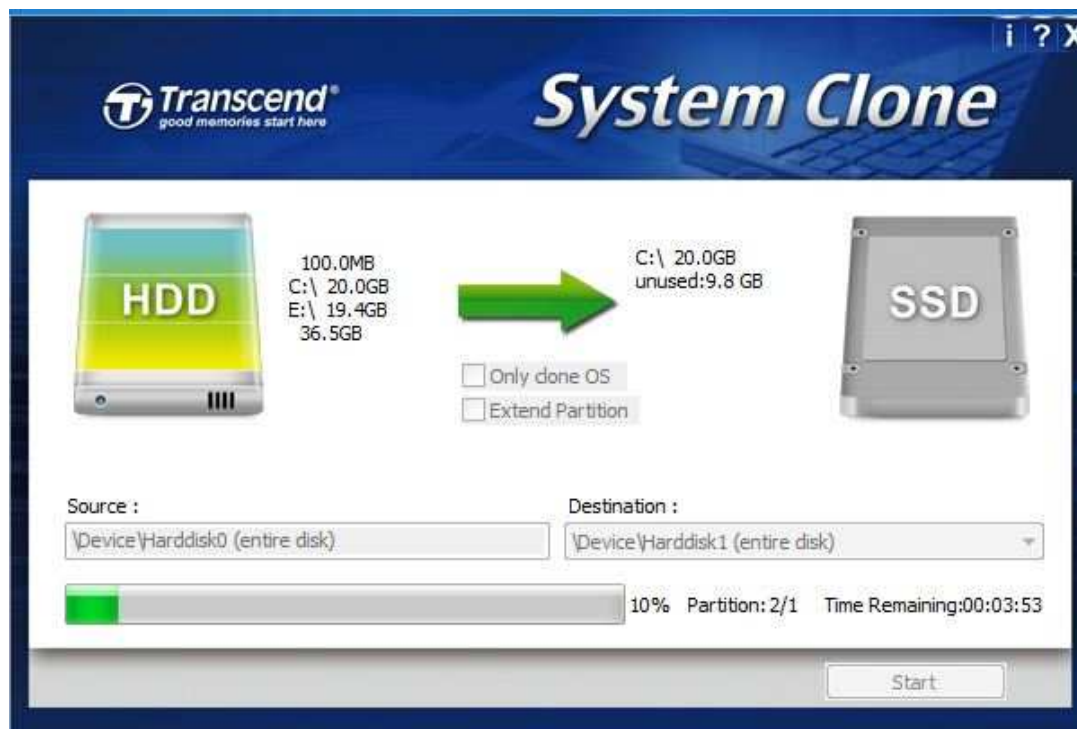
3. 十分な空き容量のある 1 つ以上の内蔵 SSD (SATA 接続)または外付け SSD (USB 接続)がある場合、プログラムは保存先のドロップダウンメニューにそれらを表示します。保存先ディスクにパーティションがある場合、パーティション情報が確認できます。

4. 保存先のドロップダウンメニューから保存先にするディスクを選択します。

クローニングには 2 つのオプションがあります。

- **Only Clone OS**: OS パーティションのみのクローニングを行う場合はこのチェックボックスにチェックを入れます。
- **Extend Disk**: 新しい SSD ドライブの容量が元のハードドライブより大きい場合、クローニング完了後に残った SSD の空き容量を使用して最終パーティションのサイズを拡張します。このチェックボックスにチェックを入れない場合は、最終パーティションとは別に未割当のディスク容量が作られます。

5. “Start”をクリックするとクローニングを開始します。

クローニング中は処理状況のパーセンテージと残り時間が表示されます。

6. クローニングが完了すると、システムクローンは保存先ディスクパーティションや見つかったエラーや未対応パーティションを表示したレポートを作成します。開いている全てのアプリケーションを閉じ、"OK"をクリックすると PC をシャットダウンします。

ステップ 3. ドライブを交換する

システムクローンでデータを新しい SSD にクローニングして PC をシャットダウン後、使用しているハードドライブを外して新しい SSD に入れ替えます。

1. PC の電源がオフになっていることを確認します。
2. 使用しているハードドライブを PC から外し、新しい SSD を取り付けます。
3. PC のケース/カバーを取り付け、PC を起動します。

トラブルシューティング

Q: SSD Scope がストレージデバイスを認識しません。

A: デバイスが PC に正しく接続されていない可能性があります。デバイスを適切なポートに正しく接続し直してください。

Q: アイコンをダブルクリックしても **SSD Scope** が起動しません。

A: 管理者権限がない可能性があります。Windows Vista/7 で SSD Scope を使用するには管理者権限で“Allow”をクリックする必要があります。

Q: ファームウェアのアップデートができません。**“The server name or address could not be resolved.”**のメッセージが表示されます。

A: インターネットに接続されていない可能性があります。ファームウェアのアップデートを行うためにインターネットが正しく接続されているか確認してください。

Q: “Quick Erase”と**“Full Erase”**は何が違いますか。

A: どちらも SSD のデータを完全に消去(通常のリカバリーでは復旧不可)しますが、“Full Erase”にはより厳しいアルゴリズムが使用されており、特別なリカバリー処理を用いてもデータを復旧できなくすることができます。

Q: 元のドライブから新しい **SSD** に **2** つの **Windows OS** をクローニングできますか。

A: システムクローンは 1 つの OS ドライブのクローニングしかできません。マルチ OS ドライブや Windows ファイルシステムパーティションのない場合は使用できません。

Q: 論理ドライブにインストールされた **OS** パーティションを元のハードドライブからクローニングできないのはなぜですか。

A: 元のドライブの OS パーティションが論理ドライブにインストールされている場合、システムクローンは OS パーティションのみをクローニングできません。**“Only Clone OS”**のチェックボックスにチェックが入っていないことを確認し、元のドライブの全てをクローニングしてください。

質問や問題など

このマニュアルで問題が解決できない場合やソフトウェアに関するお問い合わせトランセンドのカスタマーサポートにご連絡ください
http://jp.transcend-info.com/Contact/contact.asp

ソフトウェア使用許諾契約

1. **総則**　トランセンドインフォメーション(以下「トランセンド」)はトランセンド製品(以下「本製品」)を購入いただいたお客様がこのソフトウェア使用許諾契約(以下「本契約」)の条件を全て受理する場合のみ、使用を許諾したソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)のインストールと使用を許諾します。以下の条件を注意深く読んでください。ソフトウェアを使用することでお客様が本契約の条件を受理したと見なします。条件を受理しない場合はソフトウェアをインストールしたり、使用しないでください。

2. **使用許諾**　トランセンドは本契約の条項に従って本ソフトウェアをインストールして使用することを許諾します。この権利は個人使用に限った、非独占的で複製/譲渡/サブライセンスのない権利です。

3. **知的所有権**　トランセンドとお客様の間において、本ソフトウェアの著作権やその他全ての知的所有権はトランセンドまたは本ソフトウェアのサプライヤーやライセンサーの所有物です。本契約で明確に付与されていない権利についてはトランセンドに留保されています。

4. **禁止事項**　お客様が以下の行為を行うことを禁止しています。

   (a) 本ソフトウェアを関連製品以外と本来の目的とは異なる方法での使用
   (b) 本ソフトウェアの貸出や譲渡、商業やサービス機関での使用
   (c) 本ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、ソースコードの開示
   (d) 本ソフトウェアの変更、改造、派生物の作成
   (e) 本ソフトウェア関連の著作権や他の財産権に関する通知の削除や変更
   (f) 本ソフトウェアの部材や機能にかけられた制限の解除

5. **複製**　お客様はソフトウェアを複製することはできません。但し、バックアップの目的に限り 1 つだけ複製物の作成を許可します。

6. **オープンソース**　本ソフトウェアには以下の条項に従うことで使用許諾されるオープンソースが含まれることがあります。
   (a) GNU General Public License (GPL)
   http://sss.gnu.org/licenses/gpl.html
   (b) GNU Lesser General Public License (LGPL)
   http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html
   (c) Code Project Open License (CPOL)
   http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx

オープンソースソフトウェアのライセンスの記述と本契約との間で矛盾が生じた場合は、オープンソースソフトウェアのライセンスの記述が優先されます。

7. **免責事項**　トランセンドは本ソフトウェアの信頼性、ウイルスや有害な部材の使用の有無などを含む品質や機能に関しては一切の保証をするものではありません。
本ソフトウェアのインストールまたは使用においてお客様が直接的または間接的に受けた損害についてトランセンドは責任を負いません。

8. **責任の範囲**　トランセンドは損害発生の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、逸失した利益又はその他の特別損害、間接損害もしくは拡大損害について責任を負いません。

9. **本契約の終了**　トランセンドはお客様が本契約に違反した場合、本契約を即座に終了します。

10. **雑則**

(a) 本契約はお客様とトランセンドの間で締結するものであり、トランセンドが発行した書面でのみ変更できます。
(b) 適用法令の範囲外において、相反する条項を除き本契約は中華民国の法律によって管理します。
(c) 本契約の一部が無効と判断された場合でも、その他の部分は効力を有します。
(d) 本契約の条項のいずれかが違法、無効、または実施不能と解された場合にも、それにより他の条項の有効性、適法性及び実施の可能性は何等影響を受けないものとします。
(e) トランセンドは無条件で本契約に関する権利を譲渡できます。
(f) 本契約は両当事者及び各々の承継人及び譲受人を拘束し、その利益のために効力を生じます。